

天童市立第一中学校 学校だより

出羽の三森

第4号 令和 5年 7月26日
文責：校長 町田真裕



1学期終業式

校長講話より（抜粋）



令和5年度の1学期が今日で終了します。

1学期を振り返ると、駅伝全校応援や生徒会総会、青少年赤十字活動報告会、また、3年生の修学旅行、2年生のクラスマッチ、1年生の校外学習、まいつる学級の紅花プロジェクトなど、仲間とともに成長する場面や本物に触れる場面、本気になって考える場面など、体験を通して自分を伸ばすことができた場面が数多くありました。

生徒会総会では、話し合いの結果、学校でのポロシャツ着用の自由や休日の自転車利用が可能になりました。これらは、みなさんが自分たちの生活をさらによくするためにどうしたらいいかを考え、議論し、まとめ上げた実践の成果であると思います。

考えてみると、私たちの周りにはバイアスがかかっていること、つまり、「こうすべき」とか「こうしてはいけない」「普通は」「常識的に」といった固定観念や先入観、思い込みになっていることがたくさんあります。

みんなが居心地よく過ごせるためには、決まっていることでも話し合ってみ直すこと、つまり、自分の中にあるバイアスを外して考えていくことが必要なのかもしれません。

最後に、この夏休みに取り組んでほしいことをお話しします。

「夏休みだからこそできることを 考え 1つ決めて 実行 してください。」

ものごとを決めるときは、「できる」か「できないか」ではなく、「やる」か「やらない」です。自分の行動は自分の心が決めるのです。

そして、決めたことに「前向きに挑戦すること」と「辛抱しながら継続しておこなうこと」の両方をやっていくことで、自分の成長を実感してください。

人が成長するには、「挑戦」と「辛抱」が必要です。

それでは よい夏休みを過ごしてください。



高円宮妃久子殿下 ご来校

青少年赤十字活動報告会

7月12日（水）に、日本赤十字社名誉副総裁 高円宮妃久子殿下をはじめ、日本赤十字の方々、吉村美栄子県知事、山本信治市長、村山俊雄市議会議長、相澤一彦教育長、天童市役所健康福祉部の方々等を迎えて、青少年赤十字活動報告会を行いました。

生徒会執行部の生徒たちは、1年生に対して、これまでの天童一中のボランティア活動の報告やこれから行ってみたい活動について発表しました。

学校を去られる際に高円宮妃久子殿下からは、これまでの活動を評価いただくとともに「これからも赤十字の行動目標である『気づき 考え 実行する』のとおり、自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、そして、自ら主体的に判断して、問題や課題を解決していく活動を継続するとともに、中学校を卒業しても続けていってほしい」とのお話いただきました。



エアコン清掃していただきました

7月2日（日）に、PTA生活部の活動として各教室のエアコン清掃をしていただきました。

生活部のみなさまからは、1台1台丁寧に清掃していただき、子どもたちの学習環境を整えていただきました。ありがとうございました。



ニュースを見ていると、痛ましい水の事故が発生しています。生徒のみなさんには、夏季休業中、事故のないよう過ごしてほしいと思います。

駅伝チームが始動します

9月10日（日）の県大会に向けて、改めて選手の募集を開始しました。

生徒のみなさんには、1学期始業式や入学式で話をした「幸せに生きるためのトレーニング」である「好きなことを頑張る」「進められたことに挑戦する」「チャンスを見逃さない」ことを思い出して、考えてほしいと思います。

- 自分の力を伸ばしたいと思った人
- 人から走ってみたいかと勧められた人

自分をのばすこのチャンスを逃してはダメです。好きなことしかやらないのでは決して力は伸びません。

多くの参加を待っています。

津山地区の通学路について(お願いとお知らせ)

津山地区の生徒については、貫津沼で落石があって通行止めになった件を受けて、現在、干布方面に迂回して登校しています。これまでも何度か落石があったことや街灯が暗いこと、不審者事案が発生した等のことから通学路として適切であるか検討が必要だと考えています。

2学期以降も迂回しての登校をお願いするとともに、今年度中に通学路について検討し、結論を出したいと考えていますのでよろしくお願いいたします。